

◆第4号議案：資料 2021年度事業計画

■ 県士会運営計画

<参加>

《参加・出席》

日本言語聴覚士協会令和2年度春期都道府県士会会長会議
失語症者向け意思疎通支援者指導者研修

日本言語聴覚士協会令和2年度秋期都道府県士会会長会議

群馬リハビリテーション関連団体連絡協議会

群馬県地域リハビリテーション推進協議会

《後援》

予定はなし 依頼があったものへ対応していく

《群馬県多職種連携推進協議会 (オール群馬)》

参加団体の情報交換を中心に行う予定です。昨年度に続きコロナウィルスに関する情報交換や、フレイルに関するリーフレットの作成について、継続して検討する予定です。

《群馬 JRAT》

群馬 JRAT の組織化などを進めていく予定です。随時、メーリングリストや本会ホームページに情報を掲載していきます。

《群馬県 POS 連絡協議会》

役員会議出席 (角田、木村、丹下)

介護予防部 (高橋、永原、田村、中島)

県内の介護予防に携わる PT/OT/ST のスキルアップ研修として研修会を開催し、高崎市ふれあいいきいきサロンや高崎市元気づくりステーション (長寿センター) への講師派遣事業を継続します。また、要請に応じて住民主体の介護予防を目的とした集いの場開催の支援を行います。

「2021年度ふれあいいきいきサロン説明会」開催予定

「第7回介護予防推進に資する指導者養成研修会」開催予定

訪問リハ部 (高橋、針谷)

全国訪問リハ振興財団主催の全国リーダー研修に参加し、その方針を踏まえた上で2021年度の研修会を行う方針です。

「第5回群馬県地域リハビリテーション研修会 (第11回訪問リハビリテーション実務者研修会)」
開催予定

地域ケア会議部 (岡崎、田村、丹下)

自立支援型地域ケア会議で専門職として効果的な助言ができるように、リハビリテーション専門職に必要な自立支援のための視点や他地域での取り組みを学ぶ研修事業を行っていきます。

「第7回介護予防に資する地域ケア会議研修会」開催予定

群馬県地域リハビリテーションセンター

POS 連絡協議会が群馬県から委託受けています。群馬県地域リハビリテーションセンター事業を担当して、フレイル予防サポーター養成支援や地域リハ関係者研修会など実施します。

<事務局>

■総務部

1. 名簿、ラベルの管理・運営
2. 会員メーリングリストの管理・運営
3. 理事会開催及び議事録の管理・保管
4. 備品の管理・保管
5. 各種連絡発送
6. 事務局専用メールアドレス管理
7. その他

事務局の運営には、会費納入・変更届けの提出・退会の連絡など、皆様のご協力が必要です。所属や住所・氏名などに変更がありましたら、速やかに届け出てもらえるよう、ご協力お願いいたします。ホームページから書類をダウンロードしご利用ください。

また、事務局では、本会のロゴのデータ、ロゴマークの入った備品を管理しています。会員としての活動やその他活動において、これら使用が必要な場合は、事務局までご連絡ください。

■財務部

1. 会費納入状況の確認
2. 会費徴収の促進
3. 出納簿入力
4. 領収書の仕訳
5. 源泉税等の納付
6. 講師等の領収書作成
7. 支払調書作成・送付
8. 会計事務所への業務連携
9. 会計監査
10. 決算・予算報告書作成

< 学術局 >

■生涯教育部

【新人研修プログラム】

臨床経験が浅い新人 ST を対象に、他病院の指導者の下、担当症例の臨床経過をまとめ、新人症例発表会で発表をして頂き、ST としての幅広い視野と深い洞察力を磨くプログラムです。

全体検討会を学術研修部研修会と重ならない月に開催予定 (例年 2 回) 新人 ST の臨床経験を深める場であり、他施設の ST との交流の場でもありますので、ぜひご参加ください。SV、新人 ST のみならず、会員のどなたでも参加できます。見学がてらの参加も歓迎です。

会員の皆さまには、新人 ST の臨床を支える支援として SV としてご協力いただきます。新人 ST と一緒に考え、学んで頂くことが大切なことと思います。こころよくお引き受けいただけるようお願いいたします。自薦歓迎です。エントリー条件その他につきましては学術局 生涯教育部員にお尋ねください。

【日本言語聴覚士協会生涯学習プログラム研修会】

2021 年度は日本言語聴覚士協会の規定に基づきオンライン研修を 3～6 講座実施の準備をします。協会・本会のホームページに詳細を掲載します。

■学術研修部

【研修会】

- ・研修会 4 回を予定しています。今年度は医師、コメディカルの先生を招いての研修会を 3 回と、ST による研修会 1 回を予定しています。
- ・日本言語聴覚士協会生涯学習プログラムの修了要件「症例検討・発表」の場を提供するため、「症例検討会」を開催します。参加要件は、日本言語聴覚士協会会員かつ本会会員の方となります。発表をする方以外の聴講はできませんのでご注意ください。
- ・今年度の研修会、症例検討会は原則 **ZOOM による web 開催**とします。ただし、COVID-19 の感染動向によっては実地での開催への変更も検討します。

【第 5 回学術研究発表会】

今年度は、11 月に web 開催を予定しています。例年通り、特別講演を 1 題、症例発表を 6～12 症例の予定となっています。

研究発表の場、全国学会への足掛かりの場として積極的にご参加下さい。エントリー、参加募集等は、後日、広報・メール等でご案内させて頂く予定です。

<事業局>

■言語聴覚療法推進部

【地域リハグループ】

昨年度、『地域リハビリテーション活動推進のための人材育成研修会』は COVID-19 の影響により開催を断念しましたが、今年度は開催の予定です。

これは全国協会の『人材育成事業』を本会で実施するものです。『介護予防推進コース』『地域包括ケア推進コース』の2つのコースについてそれぞれ初期研修・導入研修があります。また、全国協会の修了証発行要件には『県士会活動の積極的な参加』が含まれています。本会では、各部の活動や研修会参加・事業への協力等をポイントでカウントしますので、これを機に本会の活動への積極的な参加をお願いいたします。

開催については、COVID-19 の情勢を鑑み、web 開催等も視野に、開催方法を検討します。詳細については追ってメーリング等でお知らせする予定です。

【発達・聴覚グループ】

・研修会

今年度は3回の研修を目指して活動していきたいと思っております。オンサイトでの開催を目標としつつ、COVID-19 の感染状況を鑑みながら web 開催の準備も整えていく予定です。研修会の情報は県士会ホームページやメーリング等で随時案内しますのでご確認ください。

・教育現場における外部専門家配置事業

学校現場への ST 派遣事業へ参加協力も継続してまいります。多くの ST にご参加、ご協力をお願いします。

【失語症グループ】

失語症の方が地域に参加する際の支援者の養成は、言語聴覚士が地域で出来る活動の一つであり、また職能団体の責任であるとも考え、本会は、2018 年度から群馬県、前橋市、高崎市からの委託を受けて「失語症者家向け意思疎通支援者養成研修事業」に取り組んでいます。

COVID-19 の感染拡大により 2020 年度の新規養成は断念しましたが、2021 年度は意思疎通支援者の新規養成を再開する予定です。また、感染流行下において孤立が案じられる失語症者やご家族が交流できる場をどのように整えていけるか、研修修了生の今後の活躍の場でもある派遣事業の在り方についても群馬県との協議を重ね、出来ることから実行していく予定です。

感染予防のため活動の難しさも多々ありますが、事業のひとつひとつは私たち ST にとっても楽しく貴重な経験となっています。興味のある方は是非実行委員会にご参加ください。昨年に引き続き、皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

■ 広報部

【ニュースグループ】

<ニュース発行>

2021年7月1日付「群馬県言語聴覚士会ニュース 第67号」発行予定

10月1日付「群馬県言語聴覚士会ニュース 第68号」発行予定

2022年2月1日付「群馬県言語聴覚士会ニュース 第69号」発行予定

「群馬県言語聴覚士会ニュース」は、今年度も昨年同様、年3回の発行予定を計画しています。今年も「思わず読みたくなるニュース」、「役に立つニュース」を目標に紙面の内容も検討していきます、引き続きホームページへの掲載する予定ですので、会員の皆様にはお手数をおかけしますが、ぜひホームページをチェックしていただきたいと思います。

<その他の活動>

リーフレットの管理

他県士会広報の管理

- ・リーフレットは必要時に配布できるよう、管理していきます。
- ・他県士会からの広報誌を管理しています。興味のある方は、是非広報部員までご連絡ください。

【ホームページグループ】

1. ホームページの管理

ホームページのリニューアルを含め、管理・運営を行っていきます。会の運営に関する各種報告・研修会案内等を掲載していきますので、会員の皆様には定期的に関覧頂くようお願いいたします。

【啓発活動グループ】

・現在言語聴覚の日イベントについては、COVID-19の情勢を鑑みながら、開催できるかどうか検討しています。

また、その他にも言語聴覚士、また本会の活動を県内外問わず皆様に広く知っていただけるよう、啓発活動を行ってまいります。

◆第5号議案：資料

2021年度予算

2021年度 会計予算案

収入の部

項目	予算額	内訳等
繰越金	408,082	
会費収入	1,390,000	正会員270名、準会員0名、賛助4
研修会収入	60,000	人材育成・学術研修
広告収入	0	協賛広告費
補助金収入	50,000	日本言語聴覚士協会活動支援補助金
委託事業費	1,200,000	R3年度失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修事業
R2年度委託事業費	408,200	R2年度失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修事業
口座利息	5	
収入合計	3,516,287	

支出の部

項目	予算額	内訳等
運営費	409,300	HP管理費、会計事務所委託料、HPシステム作成料など
広告費	150,000	言語の日、介護フェスタなど
交通費	62,600	理事会、各部会等
会場費	153,240	総会、研修会など
印刷代	111,000	広報部新聞など
要請事業支払金	1,000	委託事業差額
会議費	280,000	理事会、各部会等
旅費交通費	50,000	学術研修講師、会長会議
通信費	107,040	切手、はがき、郵送料など
消耗品費	180,500	封筒、事務用品、PC、ソフト、プリンターなど
年会費	50,000	失語症友の会、POS連絡協議会、JRAT
諸手数料	8,000	支払手数料など
委託事業費	1,200,000	失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修事業
講師謝礼	136,042	講師謝礼、図書カードなど
租税公課	1,000	
雑費	0	
繰越金	616,565	
支出合計	3,516,287	